

緊急対策 (1月27日提案)

1月臨時補正予算 約57.4億円

(除雪費含め総額約61.6億円)

コロナ克服・新時代開拓経済対策、地方創生臨時交付金など国の16か月予算に速やかに呼応し、引き続き感染拡大防止と社会経済活動の両立を図るとともに、「人を大切にするまち、鳥取市」を合言葉に、コロナを克服し、明るい未来を切り拓く、切れ目のない本市独自の取り組みを実行します。

※ 1、2、3の区分は、「明るい未来プラン」(令和3年10月作成)の取り組みの柱

1 ひとを引き付け、
ひとを呼び込むまちづくり

- 「とっとりし」に移り住もう、帰ろう
- 「とっとりし」に行こう、楽しもう

・白兔海岸や湖山池、吉岡温泉などのさらなる魅力創出による誘客の促進	877万円
・鳥取砂丘などの主要観光地を周遊する日帰り団体バスツアーや個人向け宿泊商品の造成	1,597万円
・麒麟のまち観光局が取り組む圏域の観光プロモーションや観光体験コンテンツ割引販売を行うキャンペーン事業	672万円
・フリーWi-Fiの整備やライトアップなど史跡鳥取城跡周辺の観光振興	3,250万円

2 稼ぐ力と魅力高め、
ひとが暮らし続けるまちづくり

- 「とっとりし」で働こう
- 「とっとりし」で暮らそう

・令和3年産の主食用米の生産・販売をしている農業者に対し、コロナ禍での米価下落による減収見込額の一部を支援	1億667万円
・コロナ禍で業績が悪化している市内中小企業に対し、生産性向上のための先端設備等導入経費を支援	1億2,600万円
・市内中小企業が取り組むアフターコロナに対応する新たな事業への再構築を支援	6,064万円
・地元産品の消費喚起のため、とっとり市でキャンペーン(30%割引など)を実施	3,062万円
・経営が厳しい状況となっているタクシー事業者に対して事業継続を支援	1,235万円

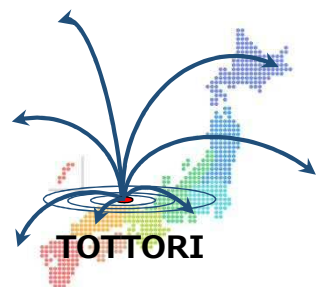
3 ひとり一人にやさしい、
ひとを大切にするまちづくり

- 夢や希望をかなえよう
- 誰にもやさしいまちにしよう

・住民税非課税世帯や家計急変世帯に対する給付金を支給(10万円/世帯)	27億7,700万円
・新型コロナウイルスワクチン接種の前倒し実施(医療従事者、高齢者施設等の入所者や職員、一般高齢者)	1億7,935万円
・本市の妊婦さんが安心して出産できるよう経済的に支援(5万円、多胎の場合はその数乗じる)	1億928万円
・私立保育園、認定こども園などに従事する保育士の処遇改善	1億1,068万円
・地域食堂ネットワークが行うフードサポート事業を支援	274万円

鳥取市DXをさらに前進

地域社会と行政のデジタル化、基盤整備を総合的に推進します。



・全市光回線化(気高町北部地域への光ケーブル敷設、エリア内の引き込み)	9億7,510万円
・DXに取り組むための人材育成や確保に資する事業を行う市内中小企業を支援	1,555万円
・100円循環バス「くる梨」に交通系ICカードが利用できる環境の整備	5,300万円
・緊急時の樋門やポンプ施設の水位上昇などを確認する遠隔監視システムの整備	1,500万円
・非接触収納のため市民課など8部署へのキャッシュレス決済端末の整備	149万円
・防災行政無線と連携した緊急情報を文字・音声により配信する防災アプリの導入	950万円
・登降園管理やお便りの電子化など市立保育園等のICT環境整備	9,009万円
・Wi-Fi環境整備や事務効率化など地区公民館のICT環境整備	2,688万円
・外国語指導助手が着任できない学校へ外国人講師によるオンラインマンツーマン授業の試験導入	100万円
・コロナ禍による外出控えのなか、図書館に外向くことなく図書館サービスを利用できる電子書籍の整備	392万円

4 国土強靱化

国土調査、漁港整備、道路・林道・公園・ため池整備、急傾斜地崩壊対策など 8事業 3億9,338万円

※主な事業を掲載